

# しおんだより VOL.50



## 多職種で院内カンファレンスを開催しています

大学病院などの教育機能を持つ大病院と異なり、当院はキャリアを積んだ医師が勤務しています。私も気がつくと医師になって来年30年目になりますが、ありがたいことに、日常の業務はそれほど迷いなく行えるようになってきました。

この日は、ハザマ薬局から1年間の研修に赴任している薬剤師2名もカンファレンスに参加していました。

しかし、毎日の診療において、もちろん判断に迷うことや、専門性の違いから他の医師と相談したいと感じる場面も決して少なくありません。三人寄れば文殊の知恵とも言いますが、やはり、単独で診療を行うよりも、みんなの知識や経験を結集して治療を行った方が、当然ながら良い医療を提供することができます。

当院では、医局に50インチを超える大きなモニターを設置し、電子カルテ端末の内容やレントゲン、CT等の画像を供覧しながら、毎週、入院患者さんのカンファレンスを行っています。また、必要に応じて看護師や薬剤師など、他の医療スタッフにも参加してもらい、それぞれの患者さんについて、病歴や現状、治療内容を共有し、主治医が治療を的確に行えるようにしています。傍目八目とも言いますが、主治医がメインで治療を行いながらも、色々な方の評価や考え方も参考に、時には複数の職種が集まって、みんなで議論することは、当院の医療のレベルを上げるためにも必要だと実感しています。

## 日本乳癌学会近畿地方会でセミナーを行いました

去る11月23日、大阪中之島の大阪国際会議場で、日本乳癌学会近畿地方会が開催されました。私は、午後にスポンサーセミナーの講師を担当させていただきました。乳癌の専門家でもない私ですが、たまたまこの学会の大会長が私の大学時代に所属していたボート部の1年先輩で、薬剤師さんにも聴いて頂けるような内容で御依頼をいただいたものです。

当日は、会場で以前からご縁をいただいている大阪公立大学の柏木教授ともごあいさつでき、さらに、セミナーには、私の予備校時代の同級生で今は開業医をしているという先生がいらっしやり、30年ぶりの再会をいたしました。どちらも、相応に年をとっていました…。それにしても、やはり、ご縁というのはありがたいものですね。



当日は、大阪公立大学医学部乳癌外科の柏木伸一郎教授ともご挨拶できました。

## おかげさまで50号を発刊できました！

地域の皆様に、当院の在り方を広く知っていただきたい。そんな気持ちで始めた「しおんだより」も、なんと今回で50号になりました。最初は読んでくださる方がいらっしやるかな…という思いで恐る恐る始めましたが、2年ほど経ったころからか、色々な方に「しおんだより、読んでますよ！」とか、「あれに書いてあったけど、先生、大阪星光学院出身なんだね」とか言われるようになりました。

また、外来の待合室で、手に取って読んでくださる患者さんや付き添いの方もいらっしやって、本当に有り難い限りです。

毎月どんなことを書こうかなと思うのですが、少し考えて見ると、色々な活動や出来事が院内で起こっており、書き始めると意外に楽しく作成に勤しんでいる自分に気がつきます。これからも、当院の姿や取組を皆さんに知っていただけるように、頑張って参りたいと思います。引きつづき、ご愛読をいただければ幸いです。（文責：狭間研至）



先日、医局の先輩主催の忘年会で訪れた恵美須町駅を上がったところでの一枚。冬の夜に見上げる通天閣は綺麗に輝いていました。

しおんだより 第50号 発行日：令和6年12月15日

発行人：狭間研至 発行元：医療法人嘉健会 思温病院

☎557-0034 大阪市西成区松1-1-31 電話06-6657-3711 HP: [www.shion-hp.or.jp](http://www.shion-hp.or.jp)